

清水友愛の里
クリスマス会

昨年のクリスマス会は、清水友愛の里で実施しました。スタッフ全員で、食事メニューや余興などアイデアを出し、準備しました。食事メニューは、利用者からリクエストを聞き、要望どおりに提供できました。食堂の飾りは、利用者が手作りしました。

開会式は、毎年恒例の利用者による司会、乾杯の音頭で



クリスマス会を楽しむ参加者

スタート。食事は、今年も富士産業に依頼し、ドリア、ビーフシチュー、フライドチキンなどを提供。ボリウム満点の料理が並び、利用者の喜ぶ様子が見られました。

昨年同様メインメニューとして実演コーナーを行い、目の前でハンバーグが焼かれるところを真剣に見つめる利用者の姿がありました。最後にお待ちかねのイチゴショートケーキを提供し、最後まで笑顔が絶えませんでした。

余興では、絵合わせくじ引き大会を行いました。当選した利用者は、景品を持ち、ステージの上で記念撮影。うれしいはずが照れくさい様子でピースサインをして写真撮影する利用者も見られました。単純な余興のゲームですが、皆さんドキドキしながら、くじの結果を待つ様子がとても印象的でした。

食事の後は、クリスマス会

の一番の盛り上がりを見せる、サンタクロースとトナカイがサプライズで登場。利用者からは歓声が上がリ、各テーブルからは、「プレゼントちょうだい」「早く来て、こっち」などの声が聞かれ、雰囲気は今年も最高潮となりました。

サンタクロースはそのまま食堂に入り、利用者一人一人にプレゼントを渡していきました。その場で開け、うれしそうに職員に伝えてくる様子は、いつ見ても良いものだと感じました。

サンタクロースが「来年も来ます」と伝えて帰った後は、楽しかったクリスマス会も閉会となり、利用者のため息もありましたが、利用者代表で「カモメの会」会長のあいさつ、万歳三唱でクリスマス会の幕を閉じました。

新型コロナウイルスの影響で思うように行事ができない

状況が続いていますが、今年こそは収束し、昔のような普段どおりの生活が戻り、全ての行事が開催できることを願っています。

デイセンター憩いの丘
新年交流会

1月6日、さばーとステーションゆうあいで、新年交流会を開催しました。

巫女の衣装を着た利用者が、来場者にノンアルコールの甘酒をお神酒として振舞いました。乾杯の音頭を取った利用者は、緊張しながらもあいさつし、達成感を味わっていました。

食事もお寿司や茶碗蒸しなど豪華な内容となり、利用者も職員も大変喜んでいました。

書初め大会では、今年一年の抱負や、「正月」、「バンザイ」など個性あふれる書がたくさん出来上がりました。書初めを終えると、おみくじを引きました。ここでも、巫女さんが登場し、皆さんの健康

を祈願してくれました。おみくじの内容を読み、今年一年の決意を固める利用者もいました。

獅子舞の登場には、驚いたり、喜んで頭をかまれたり、怖くて逃げたり、利用者のいろいろな表情が見られました。最後には、めたい「たい焼き」とジュースを味わって閉会しました。

昨年一年間、コロナウイルス感染予防のため思うように外出や行事が行えなかったのですが、今年は感染予防はしっかりと継続した中で楽しい一年となるよう、職員一同尽力していきます。



新年交流会の書初めを持つ利用者